



精神科シリーズ

第9回

こころのホスピタル事業部副事業部長精神科医師 鬼頭 きとう

恆 ひさし

こころの病気はどのように診断されるのか

●うつ病や統合失調症などのこころの病気はどのように診断されるのでしょうか？

内科や外科を受診されたことがある方はお分かりかと思いますが、病院を受診するとき、体の不調について問診、診察をうけ、様々な検査を受けます。そして、検査の結果、病名が分かり、薬が処方されたりします。例えば、糖尿病であれば、血液検査の結果、血糖値が高いことから診断をうけます。脳梗塞であれば、頭のMRI検査で、脳のどこが閉塞しているのか調べます。このように多くの病気が検査の結果から、診断がなされています。

●診断をどのようにするのか？

精神科では、これだけ科学が進歩しているにもかかわらず、50年、100年前と診断方法はかわっていません。受診に至るまでの精神的な症状や不調、その経過を詳しくお聞きします。さらに、こころの病気は、実は、こういった検査で診断ができる病気ではありません。検査結果がはつきり出れば、病気であることも納得できますし、治療者も分かりやすく病気の説明ができる

と思うますが、うつ病や統合失調症を客観的な検査で診断することはできないのが現状です。現在、こういった診断の根拠となる客観的なデータ（診断バイオマーカー）を発見すべく、世界中で様々な研究がなされています。血液の成分や遺伝子を調べたり、脳の血流を測定したりして、診断に結び付く指標がないか研究が続けられていますが、今だ、決定的な指標はみつかっていません。

があるかないかを見極め、診断をします。将来、新たな検査指標が発見され、どの医者が診察しても、同じ診断が明確にされることが期待されています。しかし、それは言つても、こころの病気はなかなか複雑で、科学では簡単に説明できない奥の深いものなのかもしれません。



精神科・心療内科外来・認知症診療

- ・新患（予約制・午前）
- ・再診（予約制）

月曜日～金曜日、第1・3土曜日

～予約先：0261-62-3166
14時～17時の間にお問い合わせください。